



CBC NEWS

2010年5月号

中央聖書神学校

息吹 Vol. 39



「競争」、「協奏」そして「共創」
新入生を迎えて

校長 北野耕一

冬のオリンピックが終わり、続いてパ
ラリンピックも閉幕しました。そこ
には熾烈な競争がありました。勝たね
ばメダルを首に掛けてもらえませ
ん。競い争う結果、歓喜の涙と悔しさの涙
とが交錯します。真のスポーツマンで
あればそこに崇高な何かを感じ、早
くも四年先の意欲を燃やし、厳しい
練習に余念がないことでしょう。使徒
パウロはスポーツを例にとつて「朽ちな
い冠」のために「自制・節制」をし、「自
分の体を打ちたたき」厳しさの必要を
強調しています。あるスポーツはチー
ムで競争します。各自の技量が優れて
いればいるほど、それらの技量が相互
にかみ合い、響き合えば、勝利につ
ながらないのです。

中央聖書神学校はチームで動いてい
ます。学生、職員、教師一人一人は各

自に与えられた賜物を生かし、それ
ぞれの分担をしつかりわきまえ、協和
して主から受けた使命達成に全力を
尽くしています。私たちはキリストの
体に属する霊的な有機体の一部であ
つて、単なる部品ではありません。キ
リストの体であるチームメンバーは、オ
ーケストラの団員のように指揮者であ
る主の指揮棒にすべてをゆだねて集中
するとき、美しく響き合う「交響」が
生まれます。その作業を私は「協奏」
と呼びます。そこには聖なる感動があ
ります。その感動が連鎖反応を起こ
すのです。キリストと有機的な繋がり
を持ち、互いに響き合つてゆく関係の
中に聖霊が働きやすくなる場が準備
されます。それがやがて「激しい風が
吹いてくるような響き」をもたらすの
ではないでしょうか。

「キリストのうちにある」、キリストに
とどまつて「いる限り」、そこには新しい
創造があると聖書は約束しています。
日々新しくされてゆく生命力が提供
されているのです。個人が独り占めに
する生命力ではなく、キリストの共同
体のなかで共有する生命力です。互い
に響き合っている限り、そして、キリス
トにとどまつている限り、癒し、慰め、
励ましが生まれてきます。そしてそう
いう環境の中に宣教力のUpが「わたし
の霊によつて」実現するのです。そうい
う状況を私は「共創」と呼びます。
今年中央聖書神学校にとつて創
立60周年を記念する年です。一九四
九年、日本アッセンブリーズ・オブ・ゴッ
ド教団創立第一回総会において聖書
学校の設立が決議され、その年のうち
に米国アッセンブリー教団の支援によ
つて駒込の現キャンパスの千七百坪を取
得することが出来ました。戦災による
焼け跡を直ちに整地し、校舎の建築
を始め、翌年開校し、第一期生を迎え
ました。こうして今年の3月第六十期
卒業式には六百人の卒業生がフィ
ールドに送り出されてゆきました。
中央聖書神学校は、他の何ものでも
ない「朽ちぬ冠」を目指す「競争」のト
ラックであり、「キリストの心」を心と
する「協奏」の舞台であり、そして、宣
教による「多くの実を結ぶ」という「共
創」の訓練場なのです。そして競争、協
奏、共創の場は、教師、職員、神学生
に限らず、諸教会の諸先生方、信徒の
方々との共有の場でもあります。



2010年度中央聖書神学校入学式

2010年4月6日(火)中央聖書神学校のチャペルにて入学式が行われました。

その後一日間にわたる聖別会が行われました。御言葉に耳を傾け、祈りと賛美と聖霊の深いご臨在中、恵みの時となりました。(広報部・高山)

新入生氏名(出身教会)

本校

新井 晴美 (中央聖書教会)

神山 茂紀 (嘉手納アッセンブリー教会)

下道 恵 (札幌神召キリスト教会)

杉浦 麻衣子 (大和リバイバル教会)

田原 聖二 (中央聖書教会)

山城 良美 (那覇アッセンブリー教会)

通信科

金 泰河 (藤沢純福音教会)

塩谷 美和 (中央福音教会)



本校新入生 献身の証



新井 晴美 (2学年に編入)

ヨハネ二十一章「あなたは私を愛するか」の御言葉が幾度となく示されていきました。この問いかけは、それまでの私の多くの過ちに対する主の責めだろうと考えておりましたが、祈りを通して

「あなたは私を愛するか」という御言葉の前提には「わたしはあなたを愛している」という言葉があることに気付かせて頂きました。「愛するか」といつて用を託す者はありません。私は主の召命を確信し、それに従って生きる者にならせて頂きたいと決心しました。「ひたすら主に喜ばれる者でありたい」(第二コリント五章九節を胸に、第二の人生を歩み切りたいと強く願っています。



神山 茂紀

私が小学三年生の時、父は献身の思いを持って天に召されました。献身とは、父の思いを私が成し遂げるのだと思っていました。しかし神さまはそんな思いを許しませんでした。自分の弱さ、罪深さが神の前に現され、気づきと悔い改めを主に誓いました。その時父の献身から自分自身の献身に思いが変えられました。

『私たちは自分自身を宣へ伝えるのではなく、主なるキリスト・イエスを宣へ伝えます。私たち自身は、イエスのために、あなたがたに仕えるしもべなのです。』(第二コリント四章五節) 日々神さまに仕えるものとして歩み続けます。



下道 恵

天国では私のような者を召し出さなければいけないほどの人材不足。神様もさぞかし悩んでいる様子。私としては頂いた最高のチャンスをモノにできるよう、また神様が召し出したのを後悔されないよう、神学校生活を励んでまいります。またこの場をお借りして今まで祈ってくださった両親や札幌レインボーチャペルの兄弟姉妹、その他の教会の皆様方、友人に感謝！そしてこれから祈ってくださいる全国の兄弟姉妹たちにも感謝します！ハレルヤ！



杉浦 麻衣子

第二コリント五章一七節二十一節を読んでいる時のことでした。「和解」と「キリストの使節」という言葉が私にせまってきました。キリストにあつて神様と和解ができていることが嬉しく、喜びが湧きあがってきました。

主と共に歩むなら古いものは過ぎ去って新しくなれる。なんと素晴らしい生き方でしょう。この素晴らしい福音を独り占めせず、キリストの使節として、和解のことはである福音を宣べ伝えることを主は願っておられると確信し、献身を決しました。こんな小さな者に声をかけてくださった神様に感謝します。



田原 聖二

私は暴走族のようなことをしていましたが、神の愛を知り、悔い改めました。この時「イエス様のため、この命を捨ててもかまわない！」そう覚悟しました。

それから約十年。何度このお方に背いたか分かりません。しかし、不思議です。あの三度主を否んだ弟子への招きのお言葉が、私の内にさえ今なお留まっています。「ヨハネの子シモン。あなたはわたしを愛しますか。」(ヨハネ二十一章十七節) 勉強と団体行動は昔から大の苦手です。しかし、福音宣教のため学びと訓練に励んでまいります。祈りて送り出してください。兄姉達に心より感謝をいたします。



山城 良美

主の御名を賛美いたします。私はクリスチャンホームに育ち、幼い頃から教会に通っていました。小学生の頃には「牧師婦人になりたい!」と言っていた事を覚えています。大きくなるにつれ家計が厳しい状態である事を知り、社会に出て働きました。しかし2009年の1月に神様は私にはつきりと召しを与えて下さり、必要な備えと進む道を開いてくださいました。そしてこのたび中央聖書神学校へ入学する事が出来ました。CBCへの入学は、私にとって思いもよらない事だったので不安も多々ありますが、神様に委ねて頑張りたいと思います。全ての栄光を神様へお返しいたします。感謝します!

通信科新入生 献身の証



塩谷 美和

子供の頃から生と死に対して疑問を持ち、思春期には非行の道に走り、自ら命を絶とうとするような人生を歩んでいました。ある日、新聞折り込みのタウン情報誌に載っていた「ゴスペルを

一緒に歌いませんか」という小さな広告をきつかけにゴスペルを始め、その後教会に導かれ、救われ、生きることの意味、そして音楽を通して福音を伝えていく喜びが与えられました。それから十年間、母教会で、またいくつかの教会でゴスペルを通して働き、2年前の結婚を機に環境や生活の変化があり、今年、ずっと祈っていた学びをはじめることが許されました。救い主である主に、これからも捧げていきたいと思えます。



金 泰河 (キム テハ)

私は小学1年で救われ中学3年で牧師になる事を誓いました。しかし、時間とともに献身の誓いを忘れ、忠実な信仰生活と、経済的、物質的に教会に献身することを目標に生活するようになり、また、ところが、社会人生活をする中で心の深いところから中学のとき告白した献身の祈りが私の心を揺さぶり、使命感が再び燃えてきたのです。

日本の親戚の招きもあり、日本宣教の夢が芽生え始め、2004年来日しました。日本の大学を卒業するまで波乱万丈の日々でしたが、神様の「日本に行きなさい、あなたを卒業するまで守ってあげるから」という語りかけ、そして御言葉を固く信じて一歩を踏み出したことを忘れずに、これからの学びに励んでいきたいと思えます。

2009年度 卒業式

3月9日(火) 第60回卒業式が行われました。卒業されて、それぞれの任地で活躍されている6名の先生方に、今後の抱負を伺いました。(広報部・毛利)

Congratulations!



〔本校〕

☆ 相原 恵子 師 天塚基督教會

「主に信頼すること、主はどのような時にも私を支えてくださることを教えられた神学校生活。このお方に聞き従い、地域に根差した伝道、牧会に励みます。主の栄光がこの地に満ちることを期待して。」

☆ 粟屋 信吾 師 成田キリスト教会

「ペンテコステの力と聖霊の賜物のあらわれ、十字架による古き人の死と心のきよめ、御言葉と神学と歴史のしつかりとした学び、この三つの柱をバランス良く追い求め、力強く、かつ健全な教会形成をしていきたいと願っています。」

☆ 小石 雅枝 師 豊橋キリスト教会

「私は、教会につながる一人ひとりが、神様の愛に強められ、結び合わされ、この世界に教会を通して神様のみ業があらわされていくために(エペソ四章十六節)、日々主に頼り、従い、用いられていきたいと思えます。」

☆ 平松 契 師 和泉神愛キリスト教会

「私は主に喜ばれる者になりたいです。自分の足りなさも、愚かさも、全て十字架の影に隠して頂いている事に感謝し、この恵みの上にしつかりと立って、キリストの体を建て上げる為に生涯かけて働きたいと思えます。」

〔関東分校〕

☆ 岡山 志伸 師 新中野キリスト教会

「就任後の教職者としての新たな出発は、地平線の彼方を見るような不安や恐れがありますが、『わたしに従ってきなさい。』という御言葉に支えられつつ、主が与えて下さっている展望とビジョンに向けて、一歩一歩従って参ります。」

〔関西分校〕

☆ 上田 努 師 武庫川純福音キリスト教会

「慣れ親しんだ学び舎を離れることはとても寂しいです。でも、私には主に召された使命と、待っている羊がいます。ここに至るまでに多くの先生方や信徒の方々に支えられてきたことを、卒業した今、つくづく感じます。この場を借りて、神様とみなさんに感謝します。」



右から
平松師
粟屋師
上田師
岡山師
小石師
相原師

イスラエル研修ツアー参加者

<教師> 6名
安田師、久保田師、込尾師
野川師、北野師、船津師

<神学生> 18名
本校 … 12名
関東分校 … 1名
関西分校 … 1名
通信科 … 4名

計 24名



2010年1月12日～20日にかけて、
イスラエル研修ツアーに
参加させていただきました。

今回の研修ツアーは、3年前の2007年に引き続き、神学校としては2度目の恵みとなりました。教師、本校生、関東・関西分校生、通信科生が参加し、参加する神学生は、後期の授業で事前にイスラエルの地誌を学んでからツアーに臨みました。沙漠地方から、エルサレムに向かつてツアーは進められました。エルサレムに着くまでは好天に恵まれ、マサダの要塞や、変貌山などに登ることができ、死海浮遊やガリラヤ湖遊覧なども体験できました。エルサレムに着いてからは、10年に一度というめずらしい大雨に遭遇し、先に巡ったマサダの要塞は、鉄砲水に見舞われ命を失った方もいて閉鎖されたという情報が流れてきました。雨の少ない地方では、恵みの雨もすぐに洪水になってしまおうという自然の猛威も知ることができました。随所で、安田真師の解説や、教職の先生方によるメッセージや祈りがあり、園の墓では、イエス様の十字架の苦しみと復活の喜びを、実に間近に感じながら、聖餐にあずかることができました。今回のツアーに参加した神学生たちは、「聖書に書かれていることは本当だと確信できた。」「事前の学びを実際に確認できた。」「イスラエルの文化を体験的に知ることができた。」「イエス・キリストがミニストリーを展開されたガリラヤ地方、そして最後の一週間を過ごされた聖なる都エルサレムを、自分の足で歩いて、五感で感ずることができたことにより、イエス様の十字架の贖いと恵みを、これからはリアルに伝えることができよう。」「など、口々にツアーで得た貴重な体験を熱く語っていました。この研修ツアーを通して、私たちに学びを与えて祝福してくださった主に、そして、ツアーのために祈り支えて下さった皆様には、神学生一同心から感謝いたします。(広報部・毛利)

ガリラヤ湖



エリコいちぢく桑の木

杉田キリスト教会



杉田キリスト教会では、久保田潔先生、説子先生の導きの中で、午前と午後の祈祷会が持たれており、私たちは午前の会に参加させていただきました。

ご婦人の方、また出勤時間に合わせて参加されている男性も多く、深い祈りの時、力強い御言葉を頂く時となりました。私たちは特別賛美、証しのご奉仕などをさせていただきました。祈祷会後の信徒の方々との良き交わりの時も感謝でした。



教会訪問の恵み

3年 森下 真理子

今回4つの教会を訪問させていただきました。女性の先生方とお話の中では、女性一人の伝道牧会ゆえに困難なこともあると聞きました。しかし女性だからこそ取り組みやすい伝道方法もあるということも知り、卒業後の伝道牧会のビジョンを祈り備える上でよい学びを得ることが出来ました。あれもこれもではなく、地域の必要を知り、その中で今、出来る働きに焦点を当てていくことの大切さを教えられました。教会では明るい会堂や集会室、整った会場の様子など、小さな配慮があちらこちらにみられました。一歩足を踏み入ると、心休まる空間がある教会、輝いた笑顔に出会える教会で、キリストの愛がより豊かに伝えられて行くと感じることが出来ました。このような素晴らしい教会訪問の機会を与えてくださった主に心から感謝します。



構さんありがとうございました！！



千葉幸子さん
6年間美味しいランチをありがとうございました



新しい
胸いさん
香月八重子さん

23年もの間、中央聖書神学校の胸いさんとして仕えてくださった構美津子さんが、この4月をもって皆に惜しまれつつ退職されました。神学生をはじめ、学校に携わる先生方や事務の皆様を美味しいお食事で支えてくださった構さんに心から感謝いたします。構さんが語っておられた、神様からいただいた新たなビジョンの上に、健康が支えられ豊かな祝福がありますように！！

また、6年間ランチの胸いを担当してくださった千葉幸子さんも、3月末に退職されました。お二人とも本当にありがとうございました。

☆ God Bless You All ☆ (広報部・毛利)

ATA 認定校
中央聖書神学校入学のご案内
校長 北野耕一
入学資格: 高卒以上、召命の確信がある方
【本校入学試験】
第I期:2010年11月3日(水・祝)
第II期:2011年2月22日(火)
【願書〆切】
第I期:2010年10月26日(火)
第II期:2011年2月15日(火)
【オープンキャンパス】2010年9月23日(木・祝)
【通信科入学試験】2011年3月12日(土)
【通信科願書〆切】2011年3月5日(土)
【通信科スクーリング】
2011年1月31日(月)~2月5日(土)
本校・通信科 お問い合わせ先
〒170-0003 東京都豊島区駒込3-15-20
Tel.03-3918-4925 Fax.03-3918-4064

静心

「小さな成功と失敗」 2年 関本英樹

献身を決意して以来、教会や学校生活の奉仕を通して小さな成功と小さな失敗を経験してきた。そして、学んだ。どちらも主の憐れみによるのだという事を。奉仕を並行して恐れや不安が生じることは多々あったが、主の憐れみによって成し遂げることができた。それは小さな成功であるが、それがあっても自分を誇ることや、他人と比較するためのものではない。なぜならそういう思いを持たず、主は小さな失敗を与え、その失敗を通して、小さな成功によって「誇れる」と思っていた事も、それはただ自分だけの誇りであって、他の人に対して誇れる事ではないと教えて下さるからだ。だから小さな失敗も恐れなくていい。失敗によって自分が砕かれ、新しい可能性を主が生んでくださるという事をこれからも経験するために。

学校の動き 2009年10月~2010年3月

- 【運営委員会】2009年10/20、11/10、12/7、2010年1/26、2/23
- 【人事委員会】2009年12/21 【教授会】2009年12/7
- 【学校理事会】2009年12/21、22、2010年3/10、11
- 【60周年記念誌編集委員会】2009年12/1、2010年1/27、3/15
- 【冬期派遣】2009年12/5~2010年1/10
- 【入学試験】第I期2009年11/3 第II期2010年2/23
- 【卒業式】2010年3/9 (説教 菊山和夫校長)

人事異動 (敬称略)

- 【学校理事会】(2009年11月総会後~2010年3月まで)
- <理事長> 佐々木正明 <理事> 下道定身 堀川寛 平松慶次 内村保
ビル・ポリス 久保田寛 菊山和夫 多田陸夫
- 【学校長】(2010年4月1日付) 北野耕一



ぜひご覧ください!!
<http://www.cbc-j.ac.jp/>

編集後記

広報部2年目となり、CBCNEWSの編集に携われる恵みを感じています。新年度で新たなメンバーも加わり、今年も主がどんな素晴らしいことをしてくださるのか期待しつつ、より多くの皆様にこの新聞を手にとりいただけるよう努めたいと思います。(2年 高山 咲)

CBC NEWS 2010年5月号
編集スタッフ(広報部)
毛利 佐保・高山 咲・森本 亮介
新井 晴美・田原 聖二
編集責任者: 北野 耕一
事務局: 中央聖書神学校

献金者ご芳名(2009年10月~2010年3月)

一般献金	ダビデの石奨学金献金	
【教会】	【関東北東教区】	【関西教区】
嘉手納アッセンブリー教会	神召キリスト教会	尾崎キリスト教会
川崎中央福音教会	東京アーバンチャーチ	【四国教区】
下関シオン教会婦人会	狭山キリスト教会	中村福音キリスト教会
仙台神召基督教会	中央福音教会	高知聖書教会
練馬キリスト教会	【関東南西教区】	【九州教区】
御影神愛キリスト教会	武蔵野基督教会	佐伯聖書キリスト教会
【個人】(敬称略)	【東海教区】	本渡基督教会
大坂太郎・智子	天塚基督教会	【個人】
吉崎雅子 匿名1名		匿名1名